

## 金属硫化物 事業に参入

日本精鉱、2億円投資

日本精鉱は硫化錫などの金属硫化物製造事業に参入する。中瀬製錬所（兵庫県養父市）に新たに建屋と製造設備を導入する。第1期計画として2017年春に設備を導入し、試験運転と同時に標準グレードや需要家のニーズに合わせたグレード開発を進め、同秋の

商業販売開始を目指す。総投資額は約3億2000万円。

硫化錫は主に自動車のブレーキパッドに配合される固体潤滑剤として使用される。日本精鉱は、現在主流である三硫化アンチモンを生産・販売している。近年は北米市場などで硫化錫が注目されていることから、新たに硫化錫の生産を行うことを決めた。現在、硫化

錫は国内では商業生産されていない。

第1期の生産能力は年間約60トとし、最終的に年間180トまで引き上げる。新たに導入する設備では、硫化錫以外にも他の金属硫化物を製造できる。今後、金属硫化物製造のマルチプラントとして新たな製品群を開発していく。アンチモン製品以外の製造を事業化するのは同社初。